

在宅医療・介護多職種連携協議会 多職種連携・情報共有システム部会 ～報告～

部会の目的

在宅医療に係る多職種連携の推進及び情報共有システムの効果的な活用について検討する。(試行WG, 試行WG評価チームの発展形)

- 症例を通じた多職種連携ルールの検討
- 好事例を基にした情報共有システムの活用方法の検討

内容

第3回部会

参集形式
(令和6年2月19日)

- 1 報告 (1) 令和5年度個人情報保護研修会実施結果について
(2) 現況届の提出状況について
- 2 議事 (1) 多職種連携ルールの素案について
(2) 次年度の取組に向けて

1

報告 1 | 令和5年度個人情報保護研修会実施結果について

■ 研修の目的

- ・ カシワニネットの利用において、患者一人一人の個人情報を取り扱うことから、利用する各職種が、個人情報保護に対する意識と知識を高めること
- ・ 一人でも多くの利用者に受講してもらい、研修を契機に適切な個人情報の取扱いを意識し、実践してもらうこと

■ 実施概要

	概要
期間	令和5年11月6日(月)～11月27日(月)
受講対象事業所	465事業所
受講対象者	2,135名 (内訳: カシワニネット担当者 462名 一般受講者 1,673名)
受講形式	研修システムを利用したeラーニング
工夫点	① 研修案内にカシワニネット担当者へ担当者の役割のチラシを同封 ② メールにて研修案内・リマインドを実施 ③ 研修システムへのアクセスの工夫 ④ インセンティブ 合格証カード・優良事業所認定証(※)の発行、柏市ホームページへの公開 ※全てのカシワニネット登録者が受講を終えた事業所 ⑤ 研修期間終了後のアーカイブ配信

＜補足＞カシワニネット担当者が受講対象事業所より少ないのは、同一法人内で複数の事業所の担当を兼務している方がいるため。

■ 実施結果

- ・事業所の受講率は昨年度より **8ポイント増加**し、受講対象者全員が受講した事業所（＝優良事業所）は **12ポイント増加**した
- ・受講者全体の受講率は昨年度より **9ポイント増加**し、eラーニングでの研修を開始して以来（R3～），初めて半数を超えた。
- ・昨年度の課題であった **カシワニネット担当者の受講率は10ポイント増加**した。

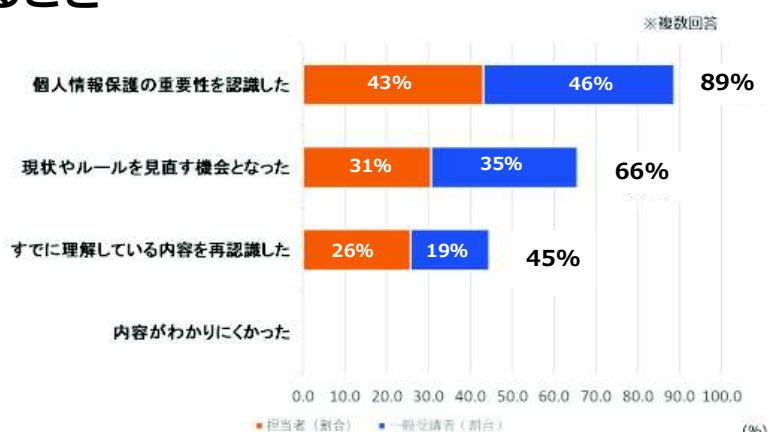
	令和5年度	令和4年度
受講事業所数	296事業所（約64%） N=465	262事業所（約56%）
全員受講の事業所数	200事業所（約43%） N=465	142事業所（約31%）
受講者数（受講率）	1,172名（約55%） N=2,135	884名（約46%）
カシワニネット担当者	261名（約56%） N=462	206名（約46%）
一般受講者	911名（約54%） N=1,673	678名（約47%）
アンケート回答者数	1,028名（約88%） N=1,172	762名（約86%）

3

■ 実施結果及びアンケート結果から言えること

① 研修目的の達成状況について

本研修が個人情報保護における意識や知識を見直す機会になっており，今後も実施する必要性がある



② カシワニネット担当者の受講率について

- ・昨年度よりも受講率が増加した
- ・カシワニネット担当者は各事業所における受講促進の役割も担っているため，引き続き，カシワニネット担当者を核としたアプローチが必要である

③ カシワニネットの効果的な活用に関する動画（テーマ：お部屋で情報共有）について

- ・視聴は任意であったが受講者の約8割が視聴し，そのほとんどが「参考になった」と回答している
- ・本研修をカシワニネットについて啓発する好機として，引き続き，プラスワン動画の作成等，プログラムを工夫する



次年度も引き続き，eラーニングでの研修を継続する

4

■ 内容

- ・ カシワニネット利用にあたり，個人情報 の適正な取扱いの観点から登録状況（職員の追加登録，削除，事業所情報）の確認のために現況を届け出てもらうもの
- ・ 職員の異動等が多い年度初め（4 月頃）に実施している

■ 令和 5 年度現況届 回収結果（令和 6 年 1 月終了）

対象事業所：470 事業所 ⇒

回収率 100%
ご協力いただきありがとうございました

カシワニネット



----- R6年度現況届の実施について -----
次年度は4月頃に現況届の提出について依頼を行う予定です
次年度も引き続き，ご協力いただきますようお願いいたします

5

報告 3 | 議事 (1) 多職種連携ルールの素案について（入退院時）

■ グループワークのテーマ

多職種連携ルールの素案について，実際の現場で活用できるような表現になっているかを確認する

■ 内容

- ① 入退院時の場面における多職種連携ルールの素案について，修正の有無を確認
- ② 修正有りのルールの素案について，どのような表現（文言）であればよいか，修正案を検討

■ 結果（一部抜粋） ※日常・急変・看取りは第2回部会にて確認済み

多職種連携ルールの素案	グループ	修正の有無	修正案
・ 状況に応じて，在宅チームからも退院前カンファレンスの開催を提案していく	1 G	無	
	2 G	無	
・ 本人の意向と介護者側の意向が違っている場合，本人と家族，多職種で話し合い意思決定していくことが望ましい。	1 G	無	
	2 G	有	・ 本人の意向と家族側の意向が違っている場合，本人と家族，多職種で話し合い意思決定する。



今後の
予定

R4～5 年度中にかけて部会で検討した 4 場面ごとの
多職種連携ルールについて今年度中に完成版として整理する

6

■ グループワークのテーマ

多職種連携においてスムーズな情報共有を行うためのカシワニネットの効果的な活用について考える

■ 内容

(1) カシワニネットの歴史や現状を確認

(2) グループワーク

- ① カシワニネットを使っていて、**よかったことや課題**と感じていることなどを確認
- ② 今後、カシワニネットに**期待することや効果的に活用**していくためには何が必要かなどを確認

7

■ グループワークの結果

	良かったこと	課題・期待すること
カシワニネットの部屋	・ 患者の傷の状態などを画像で共有できる ・ 過去の支援の経緯を遡ってみることができる ・ 言葉のみでうまく伝わらないことが画像や動画を使って共有することができる ・ 多職種が訪問した際の様子や対応がわかる ・ 1回の情報提供で複数の関係者間へ共有できる ・ 今後の対応に関する方向性を共有できる ・ 時間を気にせず、情報発信ができる ・ 電話がつながらなくてもチーム内で情報共有できる ・ 投稿内で多職種からアドバイスをもらえたり、新たな気づきや学びにつながることもある	・ 部屋への参加が少ない職種がある ・ 開設時に主治医の同意を得るのが大変なことがある ・ お部屋の開設ルールや効果的な活用方法の周知
カシワニネットの操作	—	・ 新しい端末に変更したときの手続き（電子証明書など）が大変 ・ カシワニネットの操作（PCやスマートフォンなど）が難しい ・ 容易にアクセスできるようにしてほしい ・ 日常的にカシワニネットに触れる機会を作ることが必要
システムの管理	—	・ 医師の参加を増やす ・ 柏市におけるシステムの統一化 ・ 指定取得の際に、事業者には必ずカシワニネットの説明と利用案内をしてほしい



今後の
予定

R5年度第3回部会でカシワニネットの効果的な活用等について出された意見をもとに、R6年度の取組を検討

8